

オコジョ

Mustera erminea Linnaeus

ネコ目イタチ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

本州の高山帯・亜高山帯に生息し、生息環境の改変により個体数が少ない。

形態

夏期には背面は褐色で腹面は白色。冬期には尾の先端部が黒いほか全身白色。成体では頭胴長140～198mm、尾長48～67mm、体重100g。

国内分布

本州の石川県以東の高山帯・亜高山帯に分布する。

県内分布

夏期には白山の亜高山帯以上の地域、冬期には白山市尾添、白峰の山地帯（標高600m付近）の雪上で白化した個体が観察されている。

生態

高山帯の岩れき地に生息する。ネズミ類、鳥類の卵雑などを捕食するほか、果実を食べる。地上に現れることは少なく、地下の空間を利用して移動している。

生息地の条件

夏には、亜高山帯から高山帯が主な生息地であるが、積雪期には山地帯まで移動していると考えられる。

参考文献

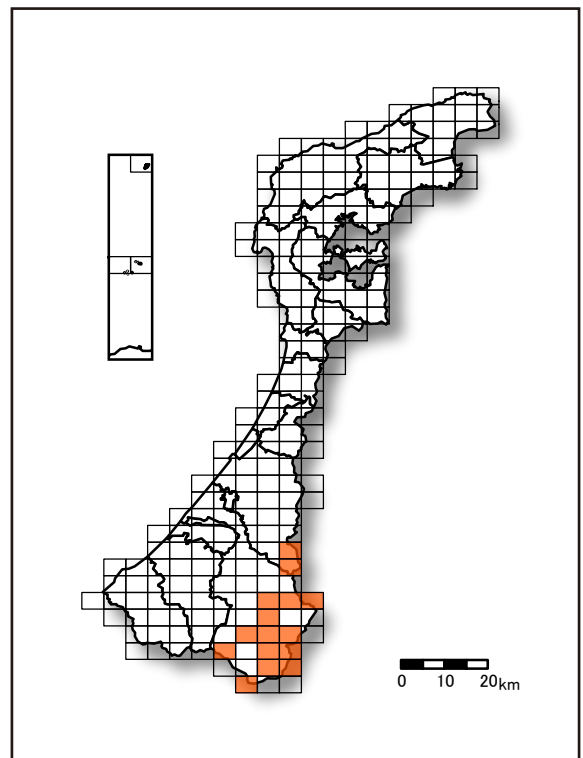
水野昭憲・八神徳彦 1985. 白山亜高山帯・高山帯の動物, 哺乳類. 白山高山帯自然誌調査報告書 107-111. 石川県白山自然保護センター.

水野昭憲 1994. 白山山系のオコジョの分布. 石川県白山自然保護センター研究報告第21集. 21-26.

野柴木 洋・上馬康生 1998. 2-2-3 哺乳類 白山におけるホンドオコジョの繁殖及び分布状況について 環境庁委託業務報告書平成9年度生態系多様性調査（白山）報告書. 79-89.



写真提供者: 谷野喜代子



県内の分布